

大変革の時代の切り札に!

(一社)熊本県工業連合会 会長
(株)オジックテクノロジーズ 代表取締役社長

金森 秀一



くまもと技術革新・融合研究会(RIST)様が創立30周年を迎えられるとの事、誠におめでとうございます。産学官連携の研究会が30年に亘り活動が続いてきましたのは関係各位の甚大なご努力の成果だと推察いたします。平成元年に設立され激動の平成時代を生き抜き成長された研究会に改めて敬意を表したいと思えます。

平成元年に「熊本知能システム技術研究会」として20年間活動し地域企業技術の発展に大きく貢献されました。そして平成20年には更なる高みを目指し「くまもと技術改革・融合研究会」と研究会名と組織をリニューアルされ、技術検討会では地域企業と連携し、農業分野、モビリティ分野、医療分野へと次々に新製品を開発され、直近では大型EVバスの開発及び運行システムの開発というビッグプロジェクトを推進されています。まさに時代の最先端の技術が熊本で開発されている事実は素晴らしいことだと思います。また、新しい技術紹介、産学官連携のきっかけ作りとしてRISTシンポジウムとRISTフォーラムも定期的で開催されており、一般社団法人熊本県工業連合会(以下くまもと工連)も数多くの共催をさせて頂いており感謝申し上げます。近年では、くまもと工連の若手経営者の会「熊志会」とRISTメンバーの大学等の若手先生との技術交流会も始まっており、次世代の新しい知の融合から新産業の創出が実現していく事を期待しているところです。

今時代はIoT(モノのインターネット)、AI(人工

知能)、ビッグデータ、5G(次世代高速通信技術)をキーワードに産業革命の真っ只中にあると言っても過言ではありません。熊本の中小企業でも避けて通れない流れです。くまもと工連では会員企業の進化・発展のためにIoTを導入したスマート工場化等の生産性向上を図る方策にチャレンジしていきます。これは「働き方改革」に繋がる動きにもなります。しかし多くの中小企業にはIoTの技術が不足しているのも紛れもない事実です。そこには学の知が必要です。今までRIST様と培ってきた交流から成果を出す大きなチャンスが巡ってきたと思っています。くまもと工連の匠の技とRISTの知の融合でこの大変革の時代を乗り切る事が出来ることを証明し、この熊本から地方創生を発信していきましょう。

また地域の活性化において人材の県外流失も大きな問題になっています。この問題解決にも技術・知能の融合のプロセスにおける企業と学の研究室メンバーとの交流が大切になってくると思っています。会員各企業がエンジニア育成に努力していく中、そこに熊本の学で育った若きエンジニアが就職し、インパクトプレーヤーとして活躍することで解決出来ると信じています。

終わりにくまもと技術革新・融合研究会の今後益々のご発展と熊本県の産業発展に貢献されることをお祈り致しましてお祝いの言葉とさせていただきます。